

北里大学病院 放射線治療科



早川 和重

1952 年生まれ。

群馬大学医学部卒

【所在地】 相模原市南区北里 1-15-1 TEL 042-778-8111

【スタッフ】 早川和重教授☆(放射線治療全般)、新部譲講師☆(婦人科腫瘍)、石山博條講師☆(頭頸部・消化器・泌尿器系腫瘍)、小森承子助教☆(頭頸部・消化器系腫瘍)、早田格助教☆(胸部・婦人科腫瘍)、関口茜衣(乳房・血液腫瘍)。(☆印: 専門医・認定医)。

【特色】 北里大学病院は病床数 1,033 床の特定機能病院である。放射線治療科のスタッフは全員が日本医学放射線学会・日本放射線腫瘍学会の放射線治療専門医で、他学会の指導医や認定医の資格も持っている。放射線治療科では、各科の協力のもとに、多くの悪性腫瘍と一部の良性疾患に対して単独あるいは手術や化学療法との併用で、高精度な放射線治療を行っている。非密封小線源療法(RI 内用療法)は放射線画像診断科との密接な連携体制で実施している。治療方針の決定に際しては、各科専門医との合同診察やカンファレンスを通じて EBM(Evidence Based Medicine: 科学的根拠に基づく医療)の実践に心がけている。

【症例数・治療・成績】 放射線治療患者数は年間 1,000 人を超え、外部放射線治療 900～950 人、密封小線源治療は子宮腔内 30 人前後、前立腺癌に対しては、イリジウム 192 小線源を用いた高線量率組織内照射が 90 人、ヨウ素 125 線源による永久挿入療法が 140 人前後の症例数である★放射線治療の対象疾患としては、肺癌、頭頸部癌、乳癌、前立腺癌、婦人科癌が多く、いずれも各科との連携により良好な治療成績が得られている。とくに放射線治療では、線量の検証や位置精度の管理あるいは治療機器の定期点検など品質管理にも重点を置いている。また、治療効果を高めるために、症例に応じて抗癌剤の同時併用や多分割照射などを採用している。末梢発生の早期肺癌には動体追跡照射を用いた体幹部定位放射線照射を行い、70%以上の局所制御率が得られている★肺癌は呼吸器内科・外科との合同カンファレンスで最適な治療方針が決定される。また、JCOG(Japan Clinical Oncology Group: 厚生労働省科学研究助成金による臨床試験研究組織、ホームページ: <http://www.jcog.jp/index.htm>)や WJOG(West Japan Oncology Group: 特定非営利活動法人・西日本がん研究機構、ホームページ: <http://www.wjog.org/index.html>)の臨床試験にも参加している。頭頸部癌では、耳鼻科専門医との合同診察で治療方針決定から治療中、治療後の経過観察まで一緒に行い、救済手術を含めて機能温存を目指した治療を優先している。喉頭癌、下咽頭癌の喉頭機能温存率は進行期でも 50%を超える★脳動静脈奇形・聴神経腫

瘍・転移性脳腫瘍などに対しては、脳外科専門医との共同作業で定位手術的照射を週1回実施しており、多くの症例で良好な経過が得られている。前立腺癌では泌尿器科との緊密な連携により、ホルモン療法など補助療法に関わる他施設との病診連携もスムーズに行われている。婦人科癌では、北里婦人科腫瘍グループを組織し、子宮頸癌を主体として標準的集学治療の確立に取り組んでいる。

**【医療設備】** 治療計画専用 MDCT、治療計画対応 PET-CT1台(診断と兼用)、X線エネルギー可変型リニアック(動体追跡照射による体幹部の定位照射)、C-arm 型リニアック(頭頸部に対する定位照射対応)、高線量率イリジウム密封小線源治療装置、ヨウ素 125 密封小線源永久刺入療法手術室。

**【外来診療】** 放射線治療診療は月～金。土は1・3・5週。受付は午前8時30分～11時、原則として予約制。主治医の先生の紹介状と検査・画像データが必要。他院からの紹介は病診連携室を通じて予約受付(随時)。